

# C.G.T. TOYOTA

2005. 11. 10

## 新しい自動車，昔からの同じ方法によって。

一週間前、生産は新たに始まった。今のところ、工程の速さには耐えられること以外何も変わっていないと確認出来ます。

多くの責任者達は再び細かいことで神経を使い、小さなことで怒ったりして、どここのところにも、圧力をかけます。

様々な職場の再配置はうまくいかず、多くの所を再編成すべきです。メンテナンスの場合、いつものように、なるべく少ない道具によって、なんでもしなくてはならないのです。

新車に関して言えば、職場の責任者たちが求めていたことは失敗しました。生産高だけに集中した結果として、欠点だらけの車がたくさん出来たのです！

そして、先週の金曜日、全員集会が行われたが、「教会での説教のように」、多くの言葉を聞きました。神父達は私達の死後、今よりもっと良い世界を約束しているが、Didier LEROY 社長はこれからの賃金、13ヶ月目、勤務時間、休暇に関して何の約束もしませんでした。

彼はただ2006年の1月末頃、新車生産の5年目記念日に当って、私達を驚かせることを約束しました。

まさか、今度は私達に南極用のズボンでもプレゼントするのでしょうか。

昔からの同じ古い TOYOTA 方式を続けています。「演説、絵空事、あいまいな約束ばかり、具体的なことは一つもない、特に賃金に関して」。演説（説教）するためには、経済的な負担は無いのですから。

もうすぐ、一ヶ月後、賃金に関する交渉を始める予定です。新車製造に当っての景品に関して話したくない社長を知っている以上、もし私達がすべてを会社側に任せるなら、その交渉の結果を既に予想することができます。

賃金を上げてもらうために、私達の祖父祖母たちが使った手段を使うべきことになります。

というのは、会社が譲歩するように、私達は皆で一致団結すべきです。

トヨタにはお金は、有ります。

\*\*\*\*\*

### CGTへの連絡先：

Eric	PECQUEUR	Tel.	06 81 11 28 57
Pascal	RODRIGUEZ	Tel.	06 60 87 59 95
Jérôme	HIRSON	Tel.	06 08 21 73
Bruno	LECLERCQ	Tel.	06 18 44 91 11
Guillaume	CONNART	Tel.	06 12 68 69 10
Aymeric	FOUREZ	Tel.	06 67 96 03 74

それぞれの職場で知られている CGT の組合員。

覚書き。次の月、火、CGT の代表者たちは各職場を廻って皆さんの要望、問題などを集約して、団体交渉に提出します。皆でそれらについて、話し合った結果を代表者にお伝えください。